



令和4年12月

< 12月の予定 >

木曜日	1日・8日・15日・22日 29日	17:00~19:00 (全員:駒場体育館剣道場) お休み
土曜日	3日・10日・17日 24日 31日	15:00~17:00 (全員:本太中学校修道館) 14:00~17:00 (全員:本太中学校修道館) お休み
■	1日(木)	駒剣寒稽古初日
■	17日(土)	一級審査会(サイデン化学アリーナ)
■	24日(土)	クリスマス会・駒剣稽古納め 夜の修道館なし

< 1月の予定 >

木曜日	全て	17:00~19:00 (全員:駒場体育館剣道場)
土曜日	7日 14日  21日・28日	13:00~17:00(全員:駒場体育館第一体育室) 15:00~17:00 (防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:駒場体育館柔道場) 15:00~17:00 (全員:本太中学校修道館)
■	5日(木)	令和5年稽古始め
■	7日(土)	OB合同稽古会 夜の修道館なし
■	5日~22日(13・14・15日を除く)	5:00~7:00 埼玉大学 寒稽古
■	21日(土)	鳳翔剣大会(埼玉大学)
■	28日(土)	駒剣寒稽古千秋楽

< 2月の予定 >

木曜日	2日・9日・16日 23日	17:00~19:00 (全員:駒場体育館剣道場) 祝日ですが駒場体育館アリーナ半面予約済み
土曜日	4日・11日・18日 25日	17:00~21:00 何かイベント実施の可能性あり 15:00~17:00 (全員:本太中学校修道館) 15:00~17:00 (防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:駒場体育館第一体育室半面)
■	4日(土)	埼玉田島剣友会創立50周年記念剣道大会(サイデン化学アリーナ)
■	18日(土)	新現合同役員会(場所未定)
■	19日(日) ※年度当初と日程変更	浦和少年剣道錬成会(サイデン化学アリーナ)

※状況により中止や稽古場所が変更になることがあります。  
詳細等はslackにてご確認ください。





# 本荘先生からのお言葉

12月、師走です。コロナ感染症の陽性者がまた増加してきています。コロナやインフルエンザにかからぬよう、そして骨折や腰痛などケガにも気をつけて、稽古を長期離脱しないよう日々ご精進ください。駒剣寒稽古、がんばりましょう！

今、サッカーワールドカップで盛り上がっています。この原稿が皆さんの目に届くときには、日本がスペインに勝ち1次リーグ突破が決まっているはず。皆さんは、この盛り上がりが剣道だったらと考えたことはありませんか。日本代表のスタメンは誰か、前の方にスピードスターを配置し得点(一本)をねらい、後ろには守備の堅い選手を置く。強豪ドイツに逆転勝ちし、テレビのニュースでは得点シーン(一本とった場面)が何度も流れ、渋谷のスクランブル交差点ではハイタッチで大盛り上がり。勝った選手の稽古着・袴(使用しているモデル)がとぶように売れていく…… まあ ないでしょうね。



さて、開催地は中東のカタールという国、皆さんどこにあるかわかりますか。ぜひ地図帳で調べてください。その近くにアラブ首長国連邦(United Arab Emirates 略称UAE)という国があります。私は昔、そこにあるアブダビ日本人学校というところに3年間勤務していました。1992年から1995年まで、ちょうど「ドーハの悲劇」が1993年なので近い所で悔し涙を流しました。ドーハがアジア最終予選で、2次予選がUAEのドバイ開催だったので全試合応援に行きました。まだJリーグがスタートする前です。カズやラモス、北澤、福田といった日本代表選手といっしょにたくさん写真を撮りました。

サッカー少年団ではないので剣道の話をしします。日本人学校でも3年間剣道の指導をしました。一年中暑い国なので冷房の効いた体育館で週に1回、剣道経験のある日本企業の方や初心者と同僚と一緒に教えていました。元々古い剣道具や竹刀は学校にあったのですがホコリにまみれていたもので、全剣連に手紙を書いて中古の剣道具や新しい竹刀などを送ってもらって使いました。放課後、毎日違うスポーツの教室が行われていました、水泳、卓球、バスケットボール、サッカー、そして剣道でした。スクールバスで登下校するので、参加しない子はすぐに帰り、参加する子は第二陣のバスで帰るような仕組みになっていました。若かった私は剣道とサッカーではメインの指導者、他の3つにもほとんど参加していました。水泳は、プールに屋根が付いてはいるのですが、日中は暑さで水温が高くなりすぎて、朝早くか夕方にならないと泳げないという日本では考えられないこともありました。剣道は2年目くらいから独自の級審査なども取り入れ、みんなで楽しみながら一生懸命稽古していました。子どもたちをスクールバスに乗せ送り出したあと、大人だけで稽古してそのあとジョッキを傾けた(禁酒国ですが)のも良き思い出です。

左の写真は最初の年にクリスマスカードと年賀状に使ったものです。日付が92. 12. 4となっているのでちょうど30年前になります。友人には「庭でペットといっしょに」と書いたりしましたが、衣装を購入しこのために髭を伸ばしジープで砂漠に行き撮った写真です。この頃はかわいかった長男は2歳、この2年後にここアブダビで二男が誕生します。

たいへん有意義な3年間でした。



# 太郎の百錬自得



## 第103回

いよいよ駒剣も寒稽古シーズンに突入ですね。年明けから埼玉大学の寒稽古も実施されるようです。コロナでの活動制限も本格的に緩和されてきて何よりです。

さて今回はコロナ後の剣道のルールについて触れてみたいと思います。

今つばぜり合いなどでコロナ禍での暫定ルールを適用されていますが、その後どうなるかという話です。結論からいうと元に戻ることはなさそうです。

まず、コロナ前のつばぜり合いがどんなふうだったか思い出してみたいです。

コロナ前、試合の半分はつばぜり合いでした。正確に言うと、つばぜり合いですらなく、小手と小手をお互いやや高い位置で合わせての休憩とも言える状態が目についていました。そして逆交差をしたり、肩に竹刀をかけるそぶりをしながら、ゆっくり慎重に別れていましたね。別れ際に打とうと狙ったり、竹刀を巻き落とそうとしたりする時間が長く、本当に構え合っただけの攻防はなかなか見られませんでした。構え合っただけの攻防を避けて近間に入る選手も少なからずいました。こんな状態でしたので、全日本の試合時間など決勝は10分だったと思いますし、普通の試合も延長に入ることが多く、長くて観る方も疲れてしまう状況でした。構え合っただけの攻防を避けて打たれないようにすれば試合は当然長引きますよね。

今どうでしょうか？つばぜり合いの時間が一呼吸になっているので、試合も短くなりました。なにより構え合っただけの攻防を集中して見ることができます。ですので、コロナの制約で剣道が良くなったと思っている方が多いようです。私もそう思います。

さて、コロナ後どうなるか、です。このつばぜり合いに入って一呼吸ですみやかに別れるは、コロナが収束しても変わらない路線で検討されているようです。ちなみに韓国では現在の運用が3秒以内となっているようで、国際会議で一呼吸か何秒か指定するかといった具体的な議論をしていると聞きました。

それとつばぜり合いの位置はしっかり低い位置で競り合いするようになりそうです。高い位置での競り合いのないつばぜり合いもどきは反則になるでしょう。すみやかに別れない動作も反則でしょうし、防御態勢をとって間合いを詰める所作も、目についたら反則でしょう。

今の駒剣士に関しては、この辺りのルールが割と身についているのであまり心配はないと思っています。あえて言えば、つばぜり合いの位置が高い子が多少いるかな？という感覚です。意識的につばぜり合いを正しくとれるように稽古しておきたいですね。

あとは審判が正しく運用できるかどうかですが、剣道が魅力的なものであるためには私は結構このルールが大きな影響を与えるのではないかと思いますので、しっかり周知徹底をしていく必要があるでしょう。

あっという間に2022年最終月です。この一年を振り返りつつ、やり残しが無い2022年にしましょう！

それでは！

# 新ジャイアンのはなうた♪



新ジャイアンのはなうた

よっ！ みんな、元気か？

ちょっと前になるけど、みんなは、11月3日にあった全日本剣道選手権大会を見たかな？どの選手も、すごかったな。特に決勝戦の村上選手の面は、すごかった。

ところで、全日本をみて、すごいなって感心しているだけじゃ、もったいないぞ。ジャイアンが着目したのは、優勝した村上選手の面だ。準決勝、決勝と、すばらしい面を決めていたな。解説の先生も、アナウンサーもいっていたけど、遠間から、足をつぐことなく、一步で面を打っていたな。準優勝の安藤選手も、すごく強い選手だったけど、足をつがずに一步で来られたから、防ぐことができなかったみたいだな。これ、すごく重要だと思うんだよな。

最近、ジャイアンは基本組のみんなとお稽古することが多いんだけど、そのときよく言うのが「1歩で打つ」ということだ。ただ言うだけでは、みんなにわかってもらえないので、「二歩で打つのと、一步で打つのでは、どちらが速い？」っていう質問をしたりするんだ。答えは当然「一步の方が速い」だよな。

でも、そう考えると、「一步、攻(せ)めて打つ」のはダメなの？っていう疑問がでるかもしれないな。でも、それとこれは違うんだな～

ジャイアンが言っているのは、一步攻めてから、一步で打つのなら、良いんだ。でも、みんなを見ていると、一步攻めたところから、もう打ちにいつてしまっている人が多いんだ。つまり、勢いをつけて二歩で打っている人が多いってこと。でも、一步攻めるということは、一步で打てるところに入っていく(近づいていく)ということで、例えば、その時に相手が打ってきたら出小手を打ったり、胴を抜いたり、色々に対応できなければならぬし、自分から打つにしても、同じタイミングで打つということではないんだ。

だから、大切なことは、日頃から、まず、一步で打てるところから、一步で打つ練習をすることが重要なんだな。

なので、ジャイアンも、何とか、一步で打てるように稽古するんだけど、これがむつかしいんだな～。どうしても打つ前に一步出しまったり、それをごまかすために打つ前に左足だけが動いてしまったりしてしまう。ごまかしてかくそうとしても、自分が一番よくわかるよな。ほんと、うまくいかないな。

練習のコツとしては、あまり急がないで、「まず、一步で打てる位置に近づいてから、両足を動かさないで、一旦、ふりかぶる。次に、その状態を確認してから、一步で面を打つ。」ってことをやってみると、なんとなくコツを覚えられるように思うぞ。そして、これができるようになったら、区切らないでなめらかに打てるように練習し、それができたら、少しずつ距離を遠くしていくといいかもな。

みんなが、村上選手のような遠間(とおま)からの一步の面が打てるようになったらいいな。寒稽古でも、十分練習できると思うので、がんばってみてくれよな。

じゃあ、またな！





石井のetc日記... 今月こゝろはなんでもみません。

